学校番号	3001

令和２年度　環境緑化科

教科	農業	科目	環境緑化材料	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「環境緑化材料」　（文部科学省出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

時代とともに、大きく変化し、それに伴って使用される材料も変化しています。さらに、新しい資材の開発も進んでいます。このような様々な材料を身近な場所で目にして授業で知識・技能を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

環境緑化科のための植物の育成や造園の構成に使用する材料について必要な知識と技術を習得させ、環境緑化科の特性を理解させるとともに、材料を適切に取り扱い、活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	環境緑化の現状や今日的な課題などについて関心を持っている。環境緑化材料の栽培、加工や利用を体験することにより、環境緑化に対する意欲をもっている。	造園を中心として環境創造と素材生産分野における自らの職業生活について判断・表現している。	造園空間の周囲の状況や地域環境の状況に応じた種類や特性、植物材料に関する技能を習得している。	多様化する材料について、体験的、継続的な観察、調査、記録などの学習を通して、成長、変化する植物を扱う造園の特質を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート 自己評価等	学習状況の観察 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	岩石材料①	岩石の分類 主な岩石の種類と特徴 自然石材 ・庭石 ・その他の庭石 ・庭石の産地 加工石材	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:岩石の種類と特性について関心を持っている。 b:どのような場面で、様々な岩石を利用するかを判断・表現できている。 c:主な岩石を判別し、適切に利用する技能を持っている。 d:主な岩石の特徴や岩石の判別など理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価
2学期	各種材料①	木材の分類 木材の特性 製材と規格 防腐処理 竹材の種類と特性	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:木材・竹材の種類と特徴について関心を持っている。 b:造園空間の目的や地域環境の状況に応じて適切な材料を選択し、取り扱うための判断・表現ができている。 c:造園空間の目的に応じた木材・竹材の選択、取り扱いに関する技能を習得している。 d:角材・丸太、樹皮など主な木材・竹材の種類や特徴、用途を理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価
3学期	各種材料②	金属材料 セメント コンクリート製品 窯製品 新しい環境緑化材料	 ○	○ ○ ○ ○ 	 ○	○ ○ ○ ○ 	a:主な材料の種類と特徴について関心がある。 b:造園空間の目的や地域環境の状況に応じて適切な材料を選択する判断・表現ができている。 c: 主な施工に応じた材料の選択、取り扱いに関する技能を習得している。 d:主な材料の種類や特性、用途を理解している。	学習状況 実習ノート レポート 定期考査の結果 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。